

VMF308 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 27.2kg 以下の薄型テレビの、壁面取り付けに適用 -----

この度は、VMF308 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VMF308 は、26V 型～ 47V 型の薄型テレビを、壁面から 210mm 引き出したり、視野角を +0 度- 10 度に、
又 35 度の首振り調整が可能です。
VMF308 は、VESA200x200, 400x200, 300x200, 300x300, 400x300, 400x400 の薄型テレビへの取付が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、
安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよく
ご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

VMF308 壁掛け金具は、26V 型～ 47V 型で、総重量 27.2g 以下のプラズマ及び液晶等の薄型テレビを、木柱やコンクリートの壁面に固定するためのものです。

27.3kg 以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木柱やコンクリート壁以外の鉄骨壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。

テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。

破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



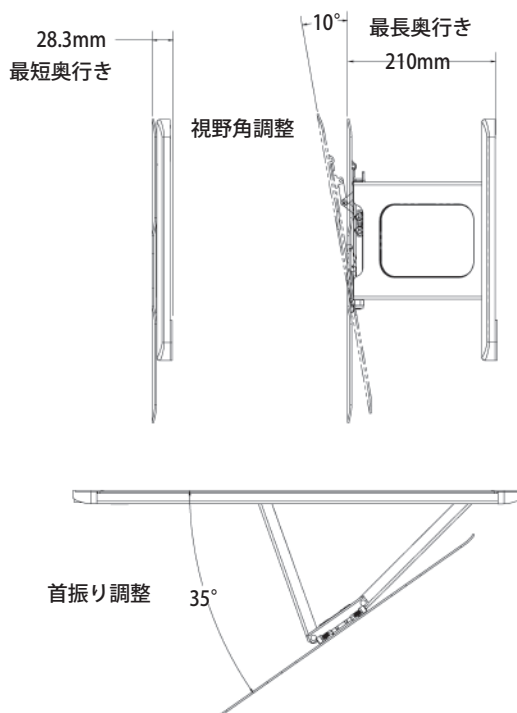
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

参考事項

VMF308 の壁面取付金具は、A 図に示す様に前後方向に 28.3mm ～ 210mm の範囲で前後方向の奥行きや、 $+0^{\circ} - 10^{\circ}$ の範囲で上下方向の視野角調整 (TILT)、又 $\pm 35^{\circ}$ の範囲で水平方向の首振り調整が出来ます。

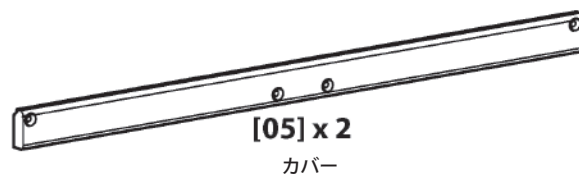
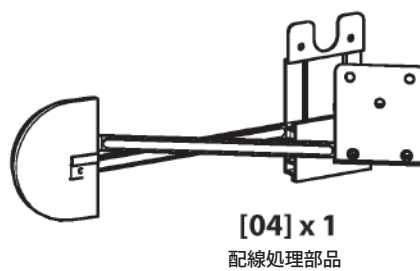
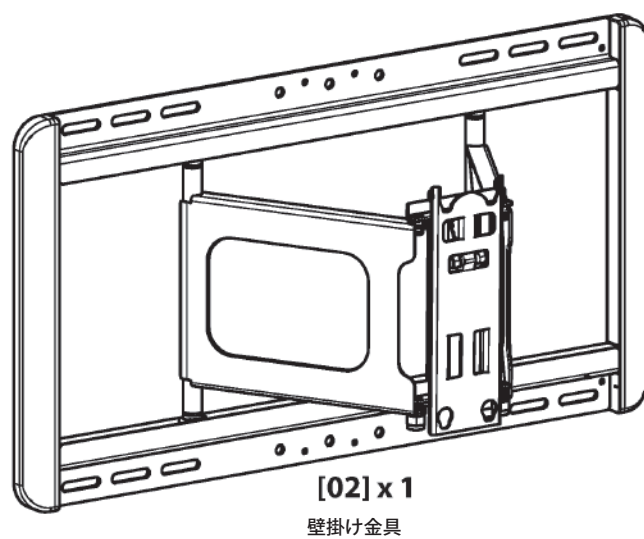
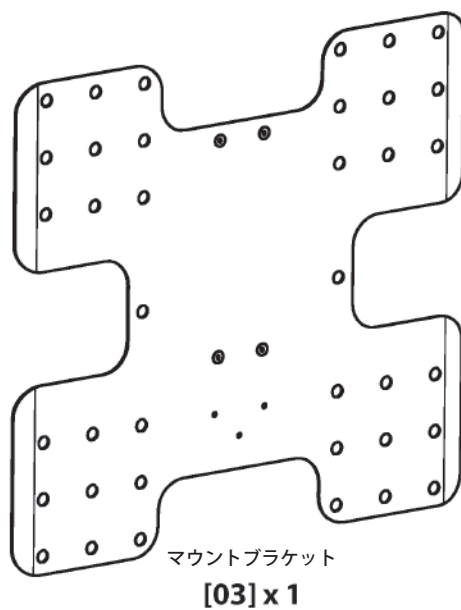
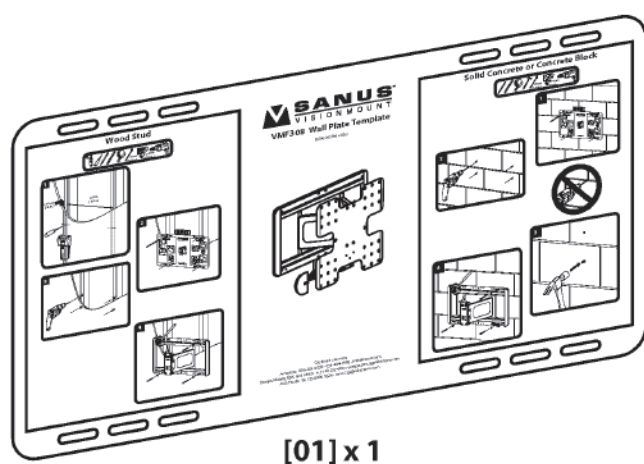


A 図

2. 部品一覧表 ----- その1

梱包を開梱し、組み立てる前に次の B 図と C 図の部品の現品の形や数量を、確認しておいて下さい。

B 図



部品一覧表 ----- その2



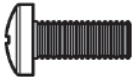
M4 x 12mm
[06] x 4



M4 x 30mm
[07] x 4



M4 x 40mm
[08] x 4



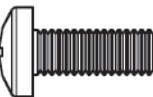
M5 x 12mm
[09] x 4



M5 x 30mm
[10] x 4



M5 x 40mm
[11] x 4



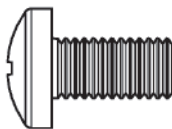
M6 x 14mm
[12] x 4



M6 x 25mm
[13] x 4



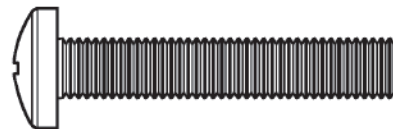
M6 x 40mm
[14] x 4



M8 x 16mm
[15] x 4

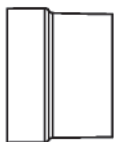


M8 x 25mm
[16] x 4

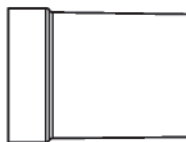


M8 x 45mm
[17] x 4

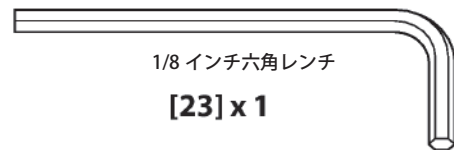
C 図



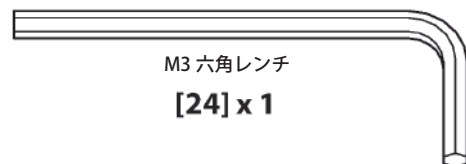
14 mm
[18] x 4



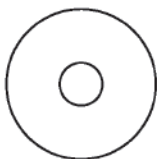
24 mm
[19] x 4



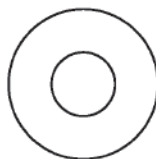
1/8 インチ六角レンチ
[23] x 1



M3 六角レンチ
[24] x 1



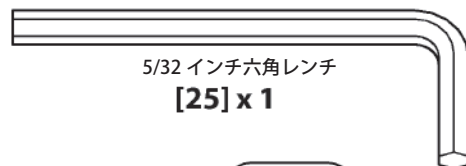
M4/M5 ワッシャー
[20] x 4



M6/M8 ワッシャー
[21] x 4



[22] x 4
ショルダーワッシャー



5/32 インチ六角レンチ
[25] x 1



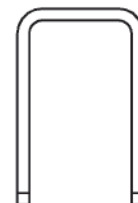
[26] x 3



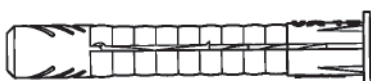
[27] x 8



ロックネジ
[28] x 2



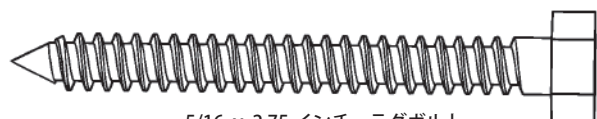
[29] x 1



[30] x 4



[31] x 4



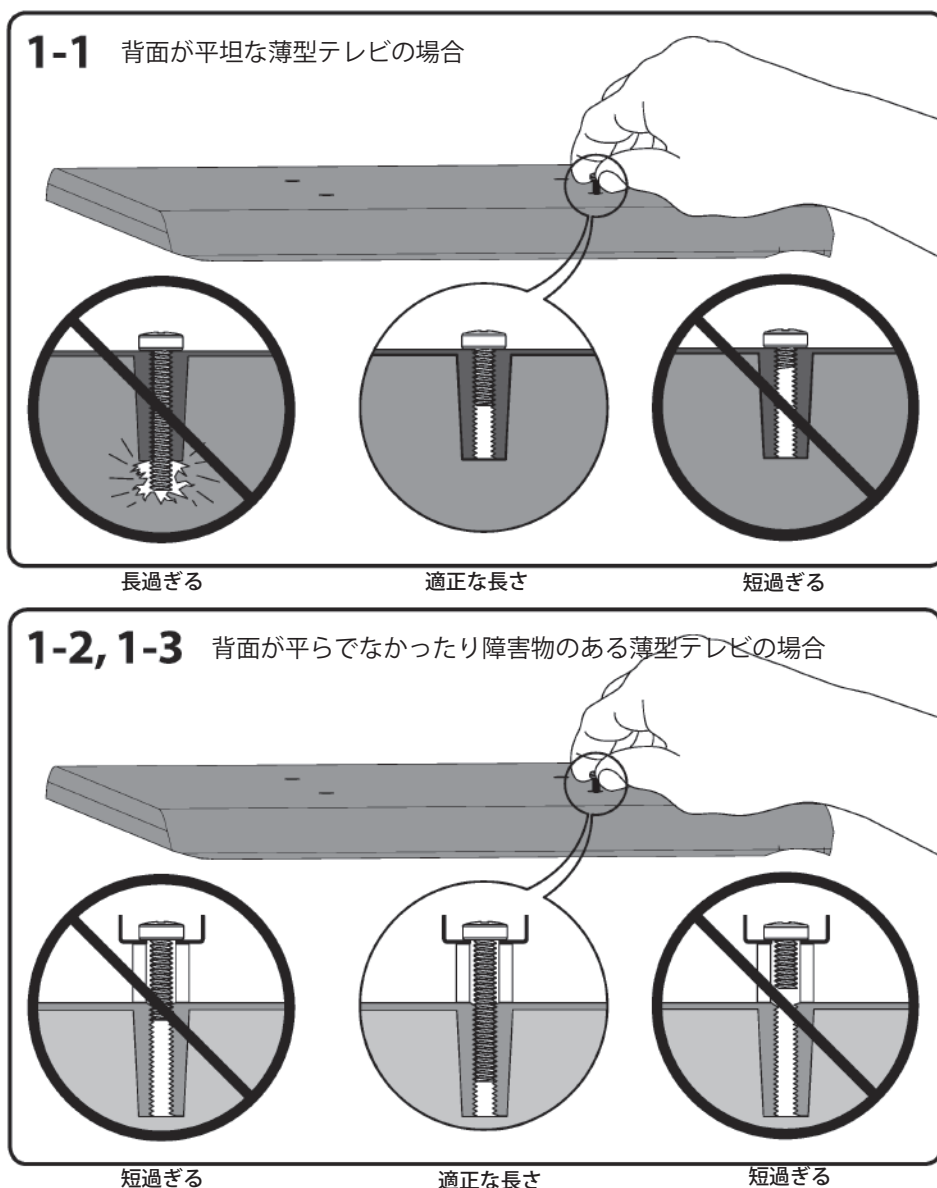
5/16 x 2.75 インチ ラグボルト
[32] x 4

3 組み立て方法

1 マウントブラケットの薄型テレビへの取付けの準備

- (1) 背面が平坦な薄型テレビの場合は (1-1 図)、背面が平らでなかったり障害物のある薄型テレビの場合は (1-2 図、1-3 図) を参照して下さい。
- (2) マウントブラケット取付用ネジの長さを調べる
組み立てを始める前に、テレビの背面のネジ穴にネジを手でねじ込んで、正しいネジの直径 (M4、M5、M6、又は M8) を調べます。
マウントブラケットを固定するために必要なネジの長さが十分かどうかを確認します。万一ねじ込んでいて抵抗があった場合、直ちにねじ込むのを中止し、一段短いネジで固定します。

注意：ケガ等の傷害や財産の破損が起こらないように注意してください。必要最小限の長さのネジとスペーサーを組み合わせて使用しなければなりません。使用するネジ長が長すぎる場合、モニター内部のコンポーネントを破損する恐れがあります。
最初は短めのネジで取り付けてみて、不足の場合に限り、一段階長めのネジに変更します。



D 図

- (3) 薄型テレビ背面の形状に従って、次の 3 つの方法から最適な手順を選択して下さい。

A：背面の形状が平坦な場合は、6 頁の「背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付」に進んでください。

B：背面が平坦でない場合は、7～8 頁の「背面が平らでなかったり、障害物のある薄型テレビへのブラケット取付」に進んでください。

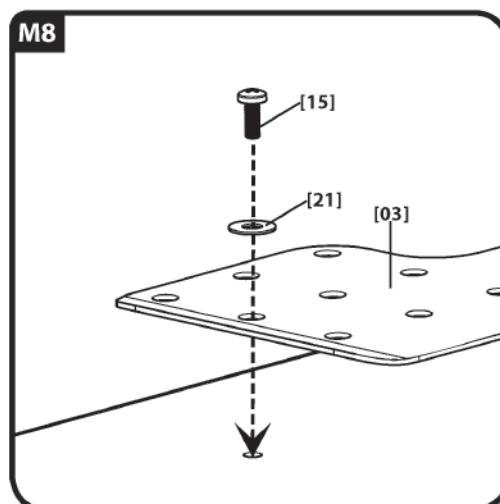
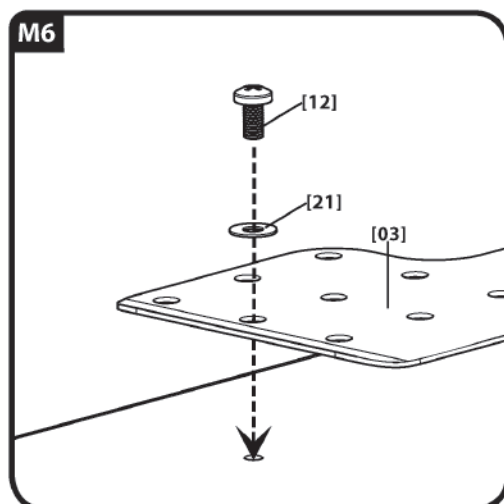
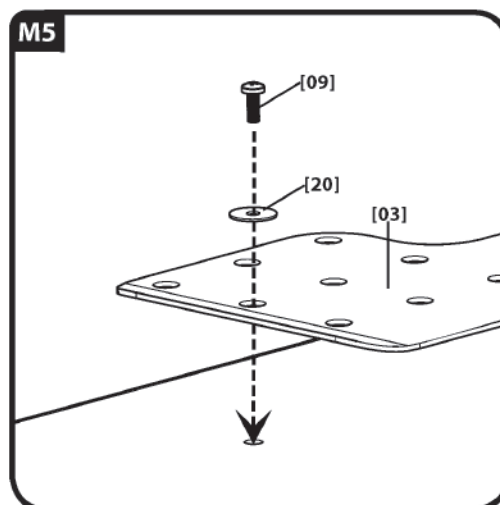
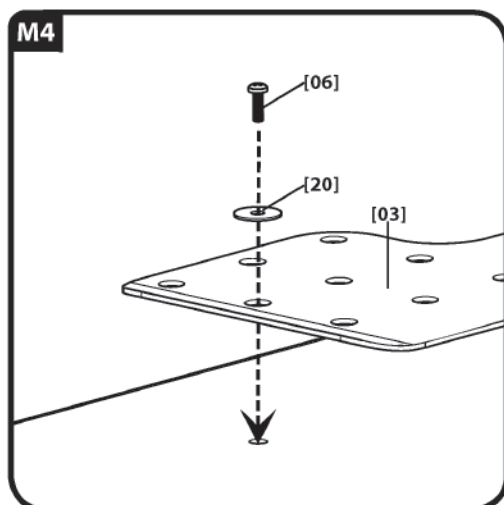
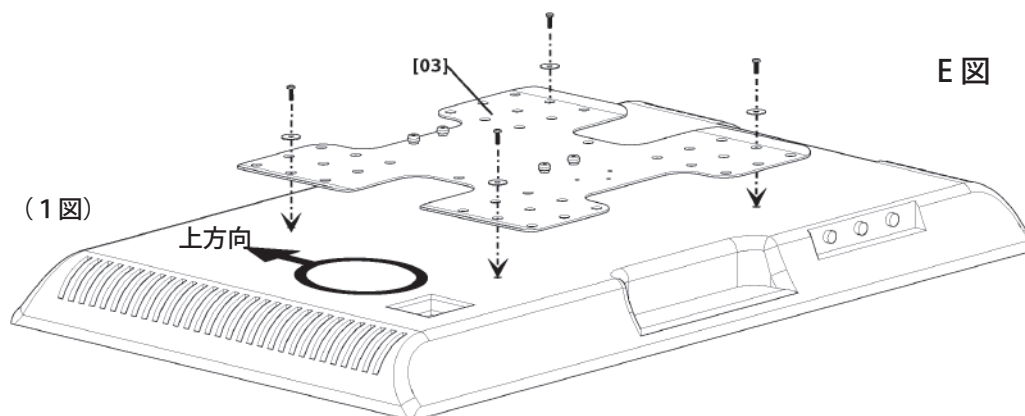
7 頁は、背面の曲がりの小さい場合に適用し、8 頁は、背面の曲がりが大きい場合に適用します。

背面の具合や障害物の高さにより、取付ネジの長さやスペーサーの長さを合わせる必要がありますので、ご使用の薄型テレビの背面の形状によって選択してください。

2 背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付

注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
2. ネジの長さは、必要最小限にして下さい。長すぎる場合はテレビの内部の部品を破損する恐れがあります。

- (1) 薄型テレビの背面にマウントブラケットを配置し、先に調べたその適合するネジ穴の口径に従って、次の作業をします。
- (2) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャーを使って、薄型テレビにマウントブラケットをしっかりと取り付けます。
マウントブラケットの取付方向は、(1 図) に示す矢印の「上方向」を上向きにして下さい。
ネジの長さは最短の長さの物を使って下さい。
長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) マウントブラケットは、薄型テレビの背面で、テレビの上下左右の中央部に、水平に配置してある事を再確認します。
- (4) 各種ケーブルを通すスペースや、くぼみ、突起物を収める余分なスペースが必要な場合、7～8 頁に記載のスペーサーを使用する取り付け方法を参照してください。

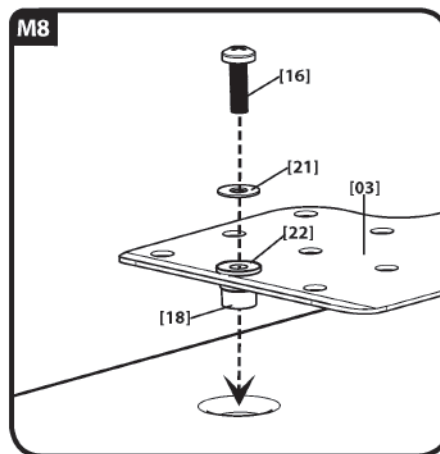
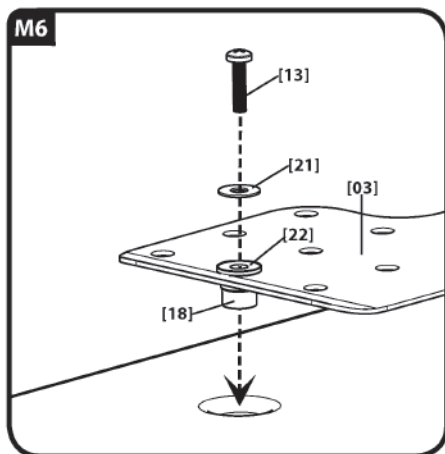
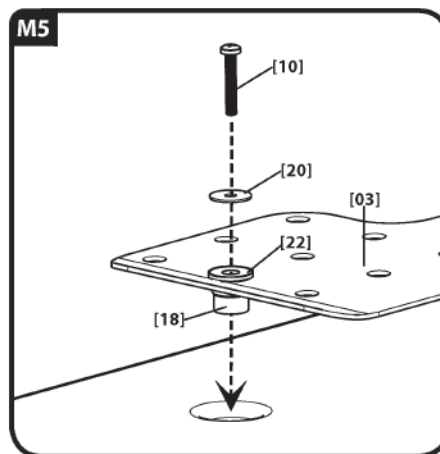
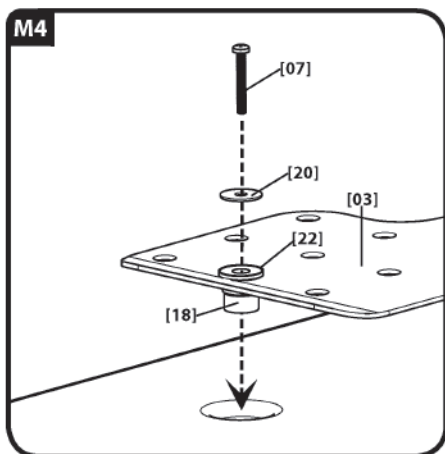
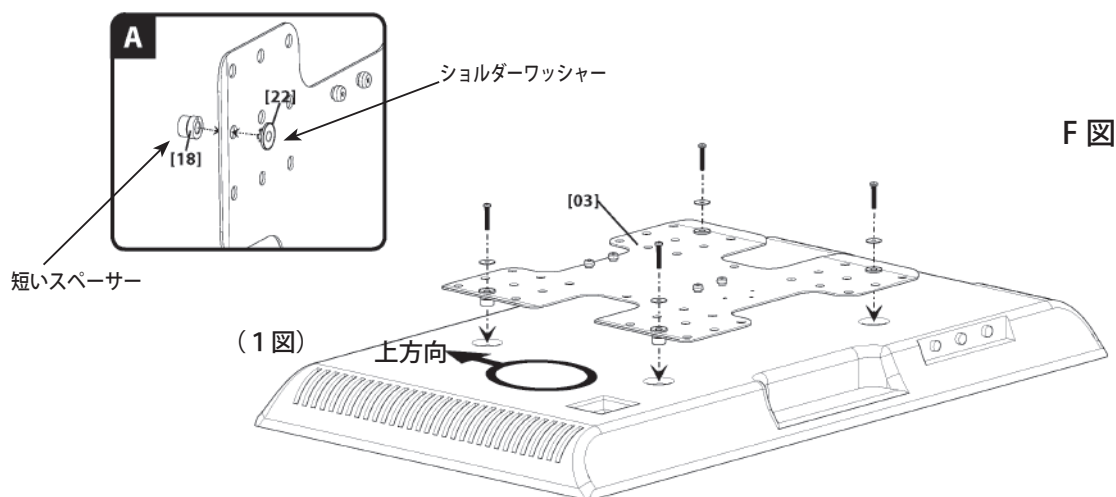


3. 背面が平らでなかったり障害物のある薄型テレビへのブラケット取付 ----- 「曲がり小さい場合」

注意： 1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
2. ネジの長さは、必要最小限にして下さい。長すぎる場合はテレビの内部の部品を破損する恐れがあります。

背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的小さい場合は、下図の F 図に従って、短めのネジ及びスペーサー [18] を使って取り付けます。
背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的大きい場合は、8 ページの G 図に従って、長めのネジ及びスペーサー [19] を使って取り付けます。

- (1) 薄型テレビの背面にマウントブラケットを配置し、先に調べたその適合するネジ穴の口径に従って、次の作業をします。
- (2) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、ショルダーワッシャー [22]、スペーサー [18] を使って、薄型テレビにマウントブラケットをしっかりと取り付けます。
マウントブラケットの取付方向は、(1 図) に示す矢印の「上方向」を上向きにして下さい。
ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。
長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) マウントブラケットは、薄型テレビの背面で、テレビの上下左右の中央部に、水平に配置してある事を再確認します。



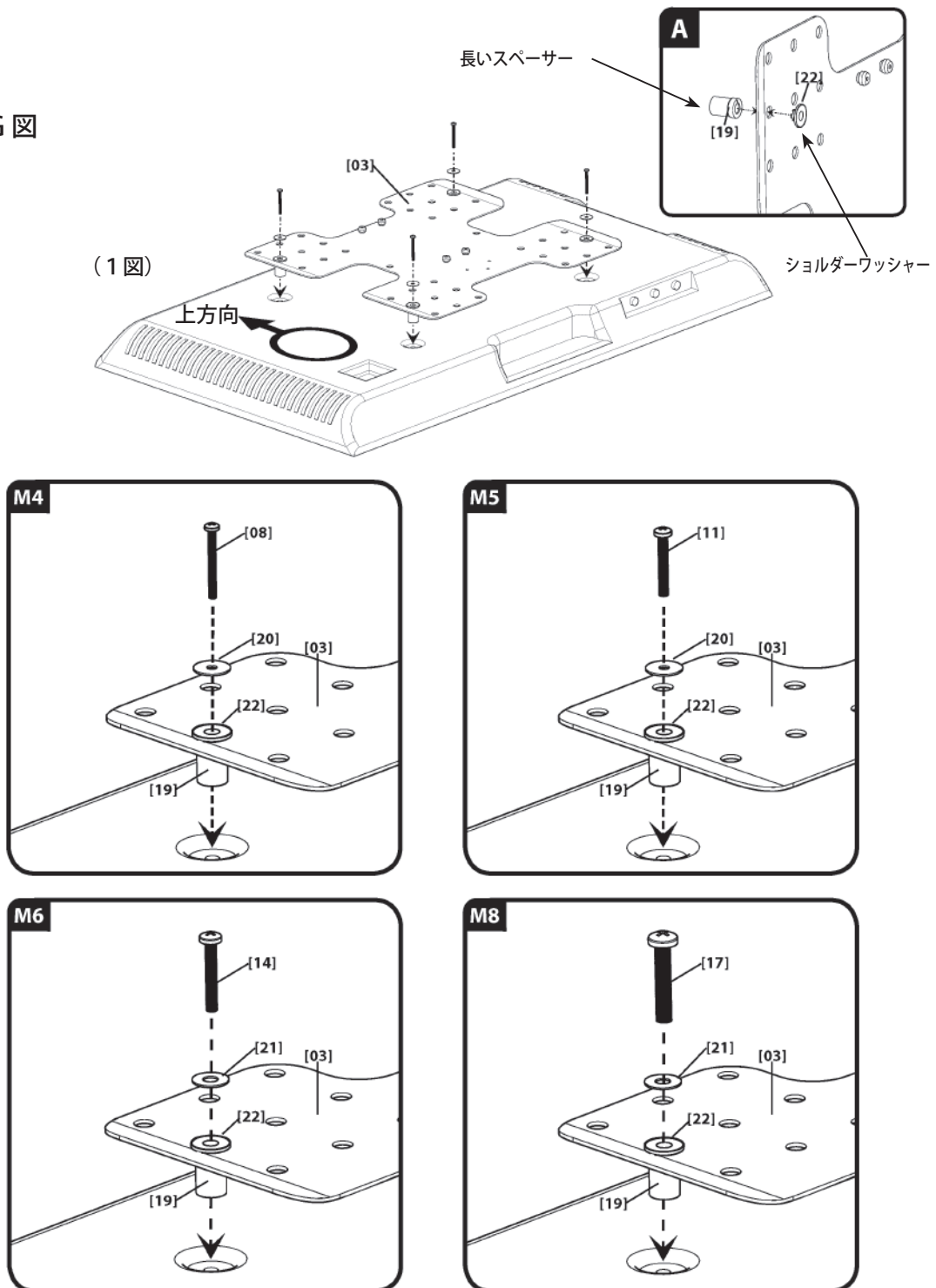
4. 背面が平らでなかったり障害物のある薄型テレビへのブラケット取付-----「曲がり大きい場合」

- 注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
2. ネジの長さは、必要最小限にして下さい。長すぎる場合はテレビの内部の部品を破損する恐れがあります。

背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的大きい場合は、下図の G 図に従って、長めのネジ及びスペーサー [19] を使って取り付けます。
背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的小さい場合は、7 ページの F 図に従って、長めのネジ及びスペーサー [18] を使って取り付けます。

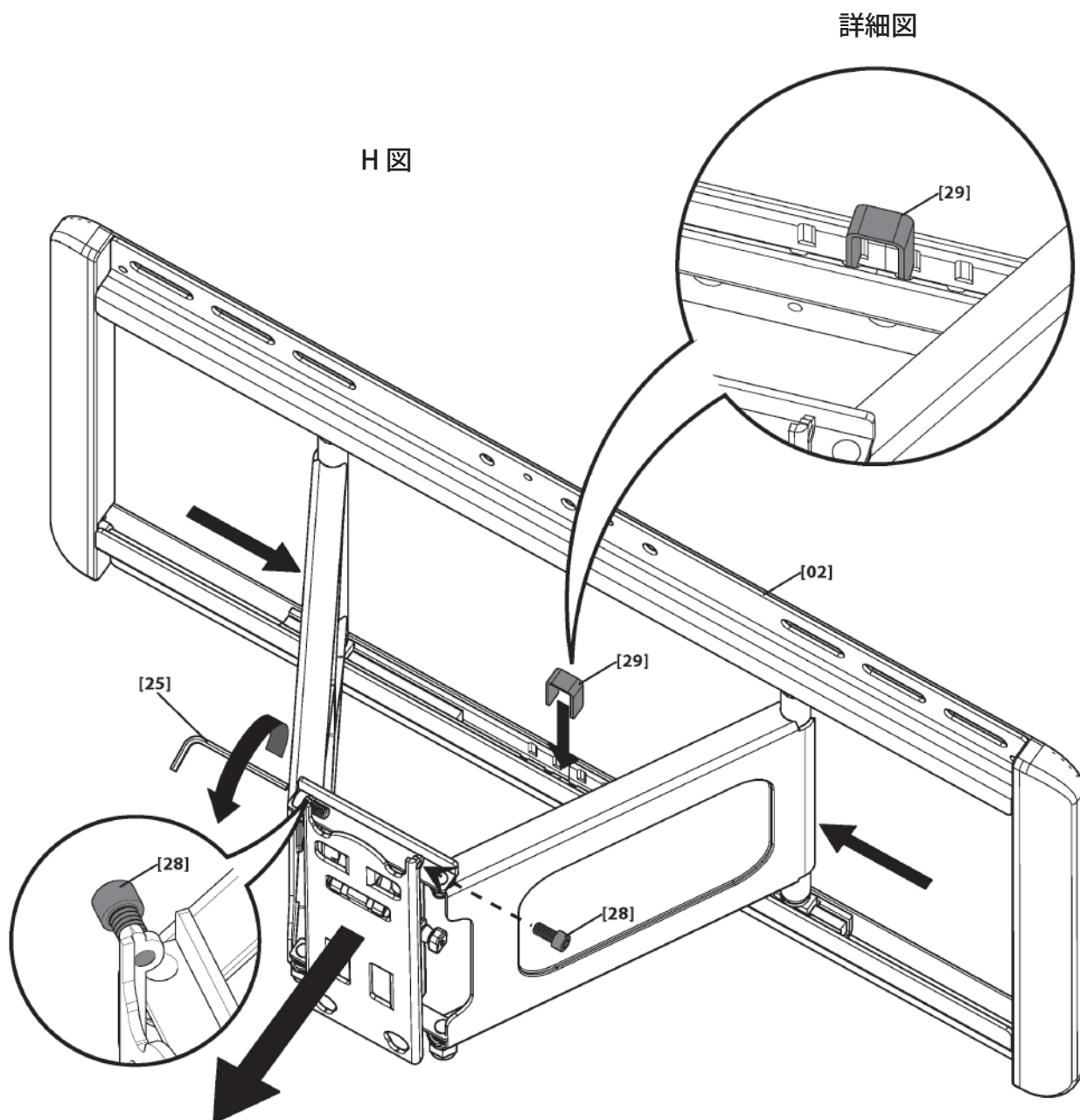
- (1) 薄型テレビの背面にマウントブラケットを配置し、先に調べたその適合するネジ穴の口径に従って、次の作業をします。
- (2) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、ショルダーワッシャー [22]、スペーサー [19] を使って、薄型テレビにマウントブラケットをしっかりと取り付けます。
マウントブラケットの取付方向は、(1 図) に示す矢印の「上方向」を上向きにして下さい。
ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。
長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) マウントブラケットは、薄型テレビの背面で、テレビの上下左右の中央部に、水平に配置してある事を再確認します。

G 図



5 壁掛け金具を取り付ける前の準備

- (1) 壁掛け金具 [08] のアームを同時にスライドさせて、スライドロック [29] を詳細図のように、所定の位置に取り付けます。
- (2) スライドロック取付により、アームが最大限に引き出した状態で固定されるため、壁掛け金具への薄型テレビが、取り付け易くなります。
- (3) 3/16 インチの六角レンチ [25] を使って、ロックネジ [28] を H 図に示す様に、壁掛け金具 [02] の横に取り付けます。ネジの端が金具の内部に収まるまで締めます。こうする事により、薄型テレビが、障害なく取付られます。ネジを締め付けすぎると、後の工程で薄型テレビが取り付けられなくなるので、ネジの先端が金具の厚みの表面から出ない程度とします。



6 壁掛け金具の木柱壁面への取り付け



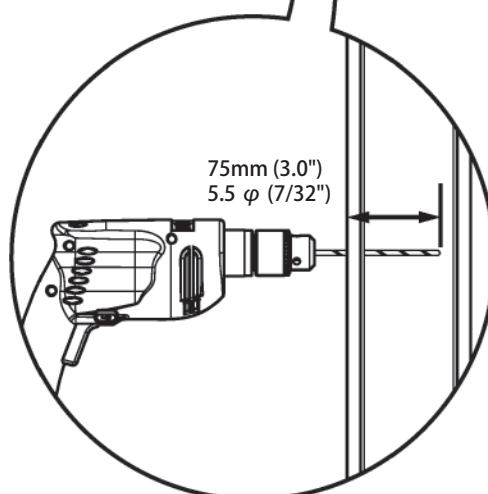
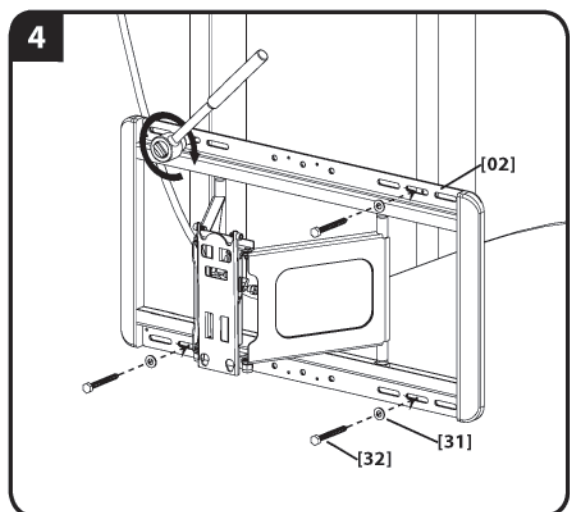
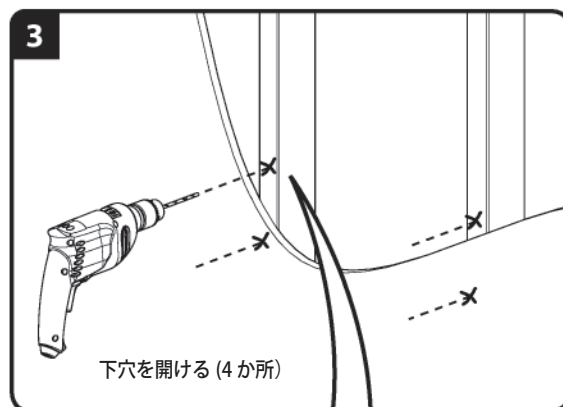
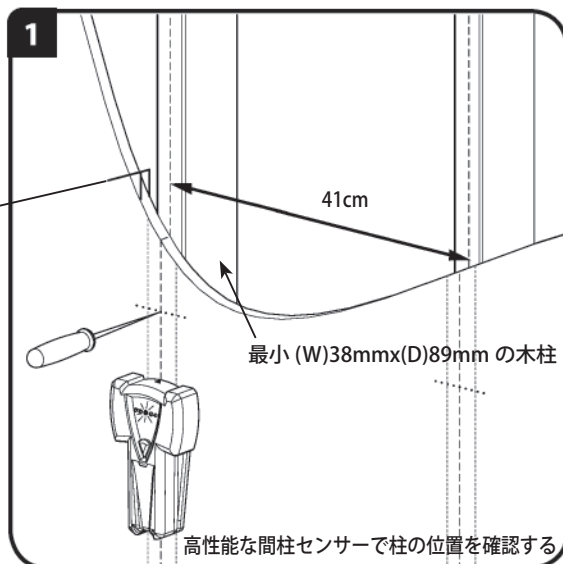
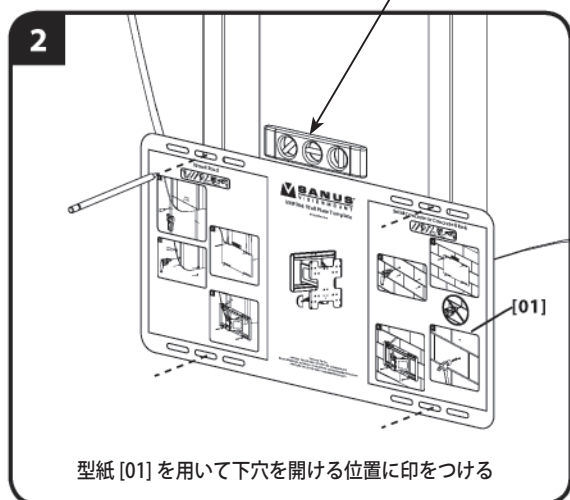
壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 27.2kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。これらの対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下して、けが等の損傷の発生する場合があります。取り付け対象外の下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

- (1) I 図のように、壁面取付金具 [02] は、2 本の木製柱の上に、4 本の 5/16 x 2.75 インチのラグボルト [32] と、ワッシャー [31] で固定します。
- (2) ラグボルト [32] は、締め付けすぎないようにしてください。
ラグボルト [32] の締め付け加減は、ワッシャー [31] が、壁面取付金具に引っ張り込まれる感じです。
- (3) 壁面の上を覆っている材料は、16mm 以下にしてください。又、壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。

I 図

コンパネ等柱上の材料の厚さ 16mm 以下

水準器で正しい水平を確認



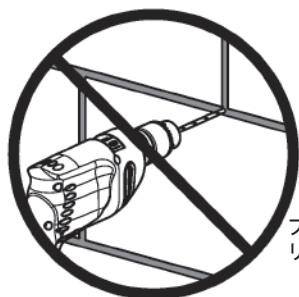
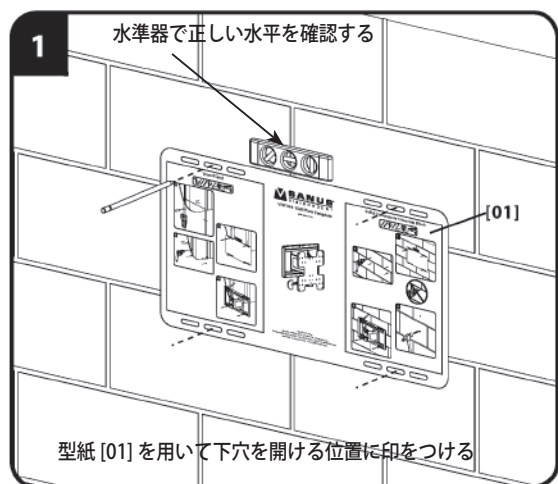
壁面取付金具 [08] は、4 本の 5/16 x 2.75 インチのラグボルト [32] と、ワッシャー [31] で固定

7 壁掛け金具のコンクリート壁面への取り付け



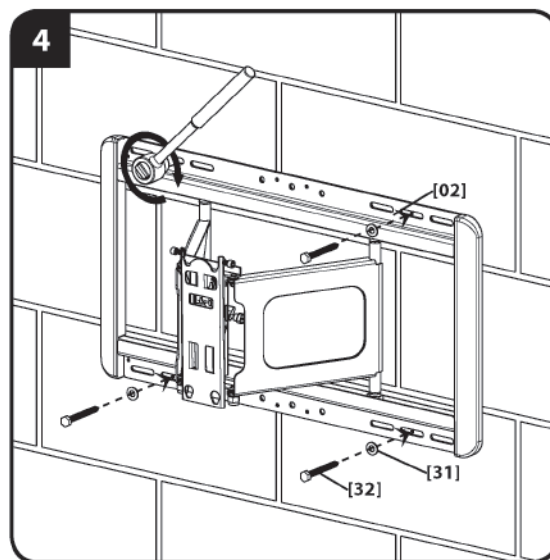
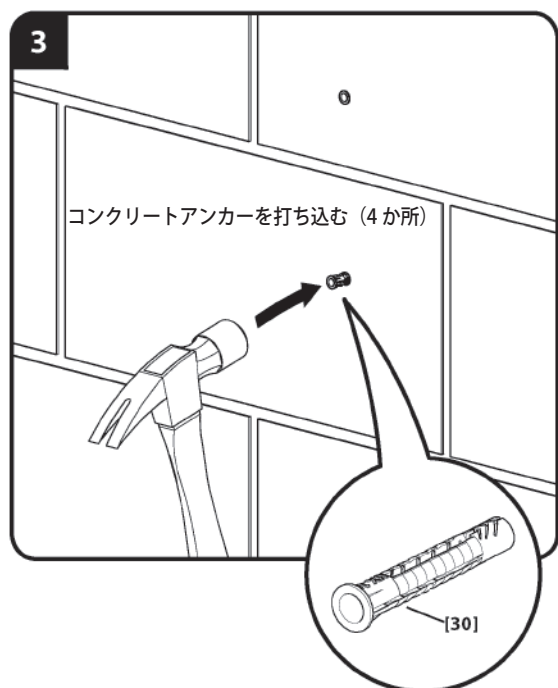
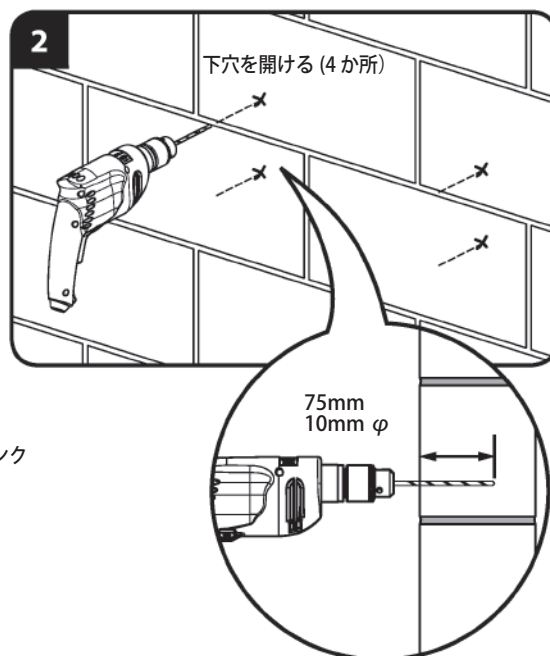
壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 27.2kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を
決めて工事して下さい。下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

- (1) M 図のように、壁面取付金具 [08] は、4 本のコンクリートアンカー [32] と、4 本のラグボルト [32] とワッシャー [31] で固定します。
- (2) 型紙 [01] を使って、壁面に 4 か所の取付穴位置に印を付けます。(1 図)
なお、コンクリートブロック壁の場合は、ブロック上に取り付けます。
- (3) コンクリートアンカー [30] を打ち込むために、10mmφ、75mm の下穴を 4 か所開けます。(2 図)
- (4) コンクリートアンカー [30] を打ち込んだ上に、取り付けるラグボルト [32] は、締め付けすぎないようにしてください。
ラグボルト [32] の締め付け加減は、ワッシャー [31] が、壁面取付金具に引っ張り込まれる感じです。
- (5) 壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。



ブロック間のつなぎのコンクリート部での固定は禁止

J 図



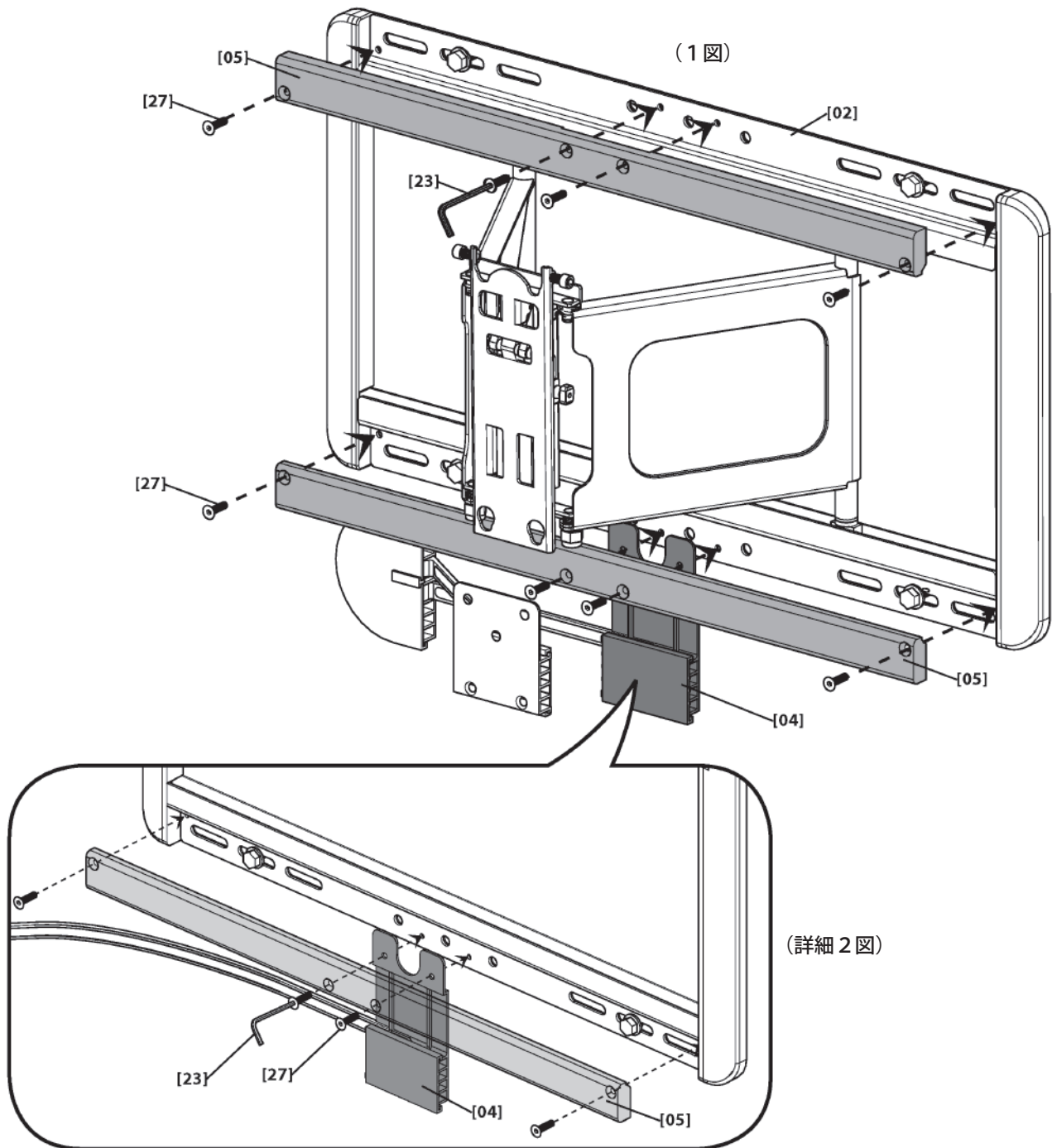
壁面取付金具 [02] は、4 本の 5/16 x 2.75 インチのラグボルト [32] と、ワッシャー [31] で固定

8 配線処理部品とカバーを壁掛け金具に取り付ける ----- 配線処理部品の取付はオプション

- (1) 上部に取り付けるカバー [05] は、1/8 インチの六角レンチ [23] を使って、4 本のネジ [27] で壁掛け金具 [02] に取り付けます。(1 図)
- (2) 下部に取り付けるカバー [05] は、配線処理部品 [04] の後部のマウント部分を、(詳細 2 図) のように下部カバー [05] と壁掛け金具 [02] の間に挟み込んで、1/8 インチの六角レンチ [23] を使って、4 本のネジ [27] で壁掛け金具 [02] に取り付けます。

もし、オプションの配線処理部品を使ってケーブル類の整理をされない場合は、配線処理部品 [04] を取り付けずに、カバー [05] のみ壁掛け金具 [02] に取り付けます。

K 図



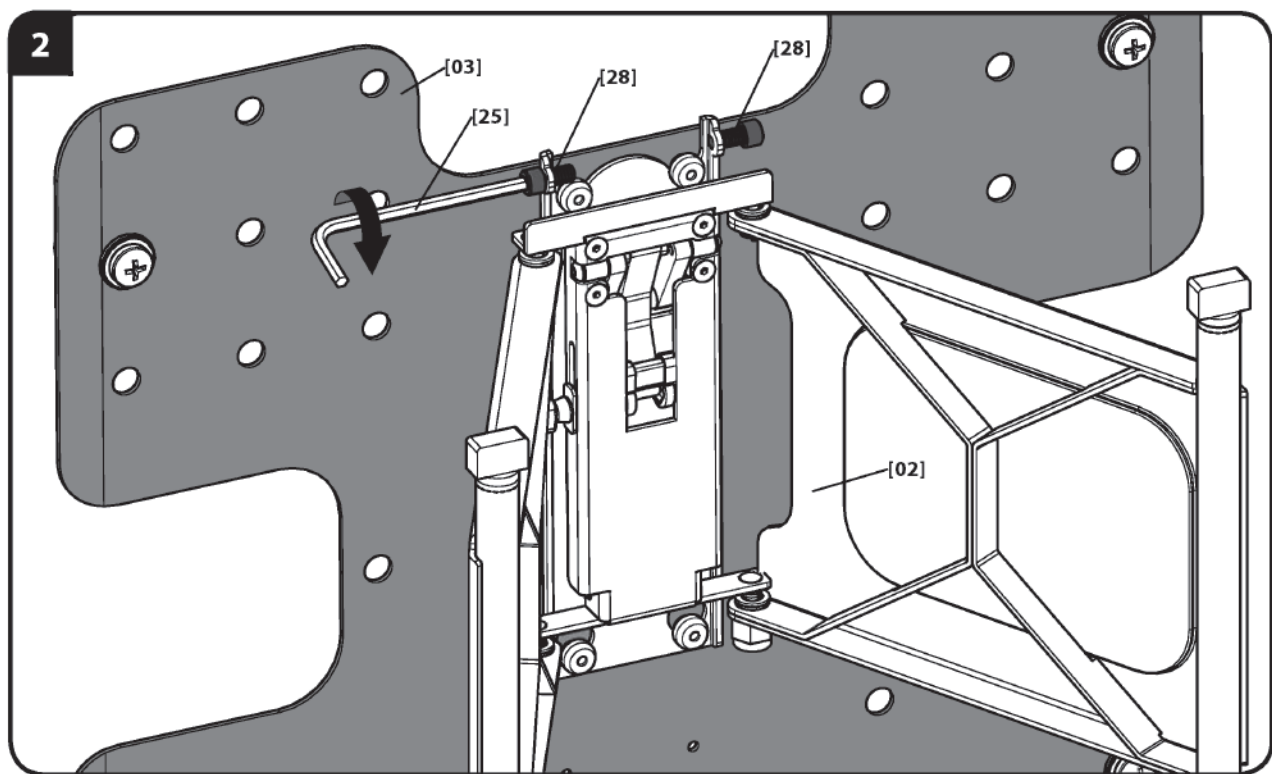
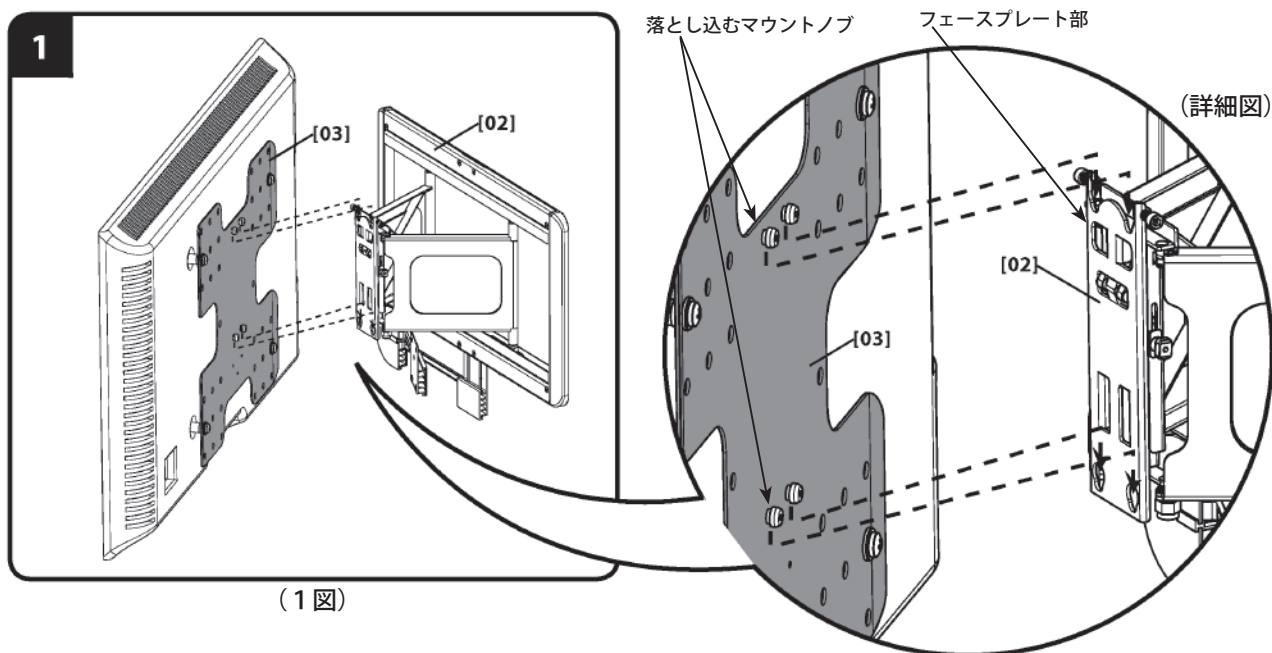
9 薄型テレビを壁掛け金具に取り付ける



注意：この項の取り付け作業は、重量があるので必ず大人二人で行って下さい。

1. マウントブラケット [03] を取り付けした薄型テレビを、壁掛け金具 [08] の前面にあるフェースプレート部に取り付けます。
2. マウントブラケット [03] の下部のマウントノブは、壁掛け金具 [02] のフェースプレート部の鍵穴形状のスロットに収まり、上部のマウントノブは壁掛け金具 [02] のフェースプレート部の上部スロットに収まります。(1 図、及び詳細図参照)
3. 2 図の様に、マウントブラケット [03] の上部ノブに引っ掛かるまで、2 個のロックネジ [28] を 3/16 インチの六角レンチ [25] で締め付けて、薄型テレビをしっかりと壁掛け金具 [02] のフェースプレート部に固定して、抜け落ちるのを保護します。

L 図



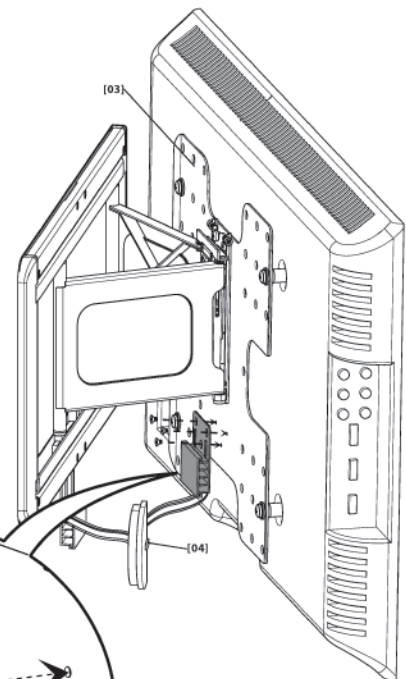
10 配線の処理部品の取付とケーブル類の処理 ----- この工程はオプション

1. 配線処理部品 [04] の前部マウント部分を、1/8 インチ六角レンチ [23] を使って、M 図のように 3 本のネジ [26] で、マウントブラケットの後部に取り付けます。

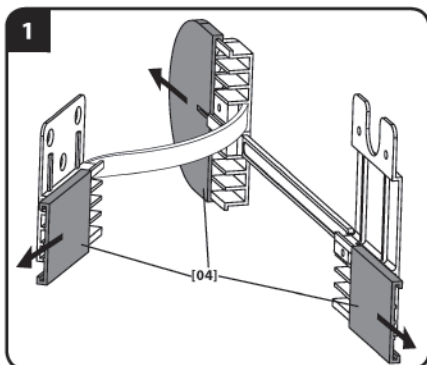
もし、12 頁の 8 項で、配線処理部品 [04] を取り付けなかった場合は、上記の前部マウント部分を取り付ける必要はありません。

M 図

詳細図



3つのカバーをスライドさせて取り外す

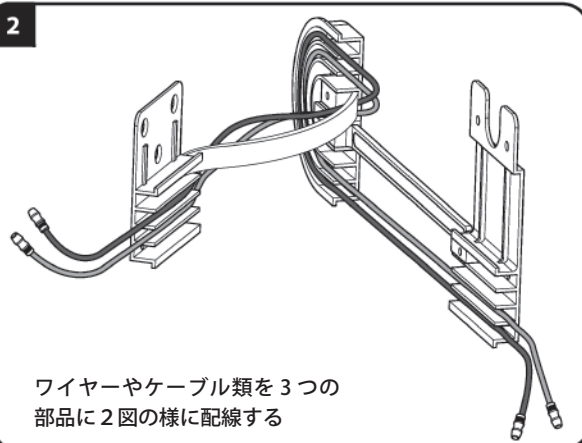


2. N 図の (1 図) の様に、配線処理部品 [04] の 3 つのカバーを、後部 (フェースプレート) に取付、前部 (マウントブラケットに取付)、中央 (フローティング) からスライドさせて取り外します。

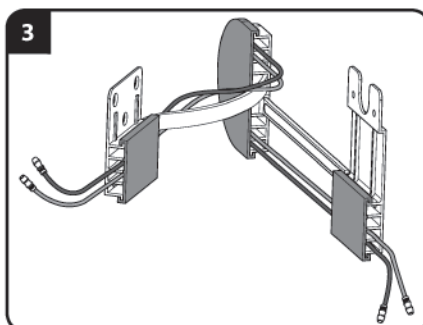
3. (2 図) のように、これら 3 つの部品に薄型テレビに必要なワイヤーやケーブル類を配線します。

4. 先程スライドして取り外した 3 つのカバーをスライドさせて元通りに戻します。(3 図)

N 図



ワイヤーやケーブル類を 3 つの部品に 2 図の様に配線する



最後に 3 つのカバーをスライドさせて元通りに取り付ける

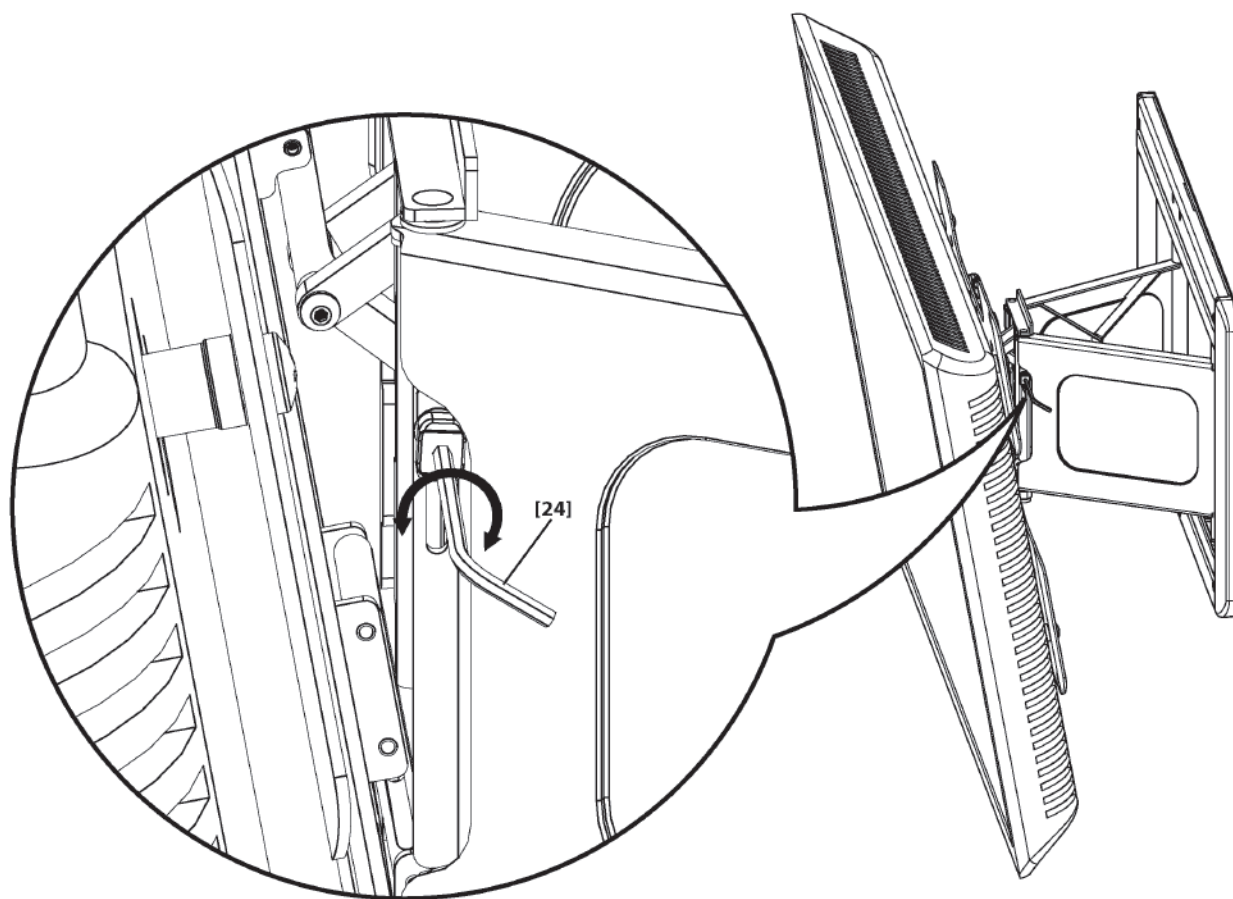
1 3 視野角調整とスライドロックの保管

調整方法

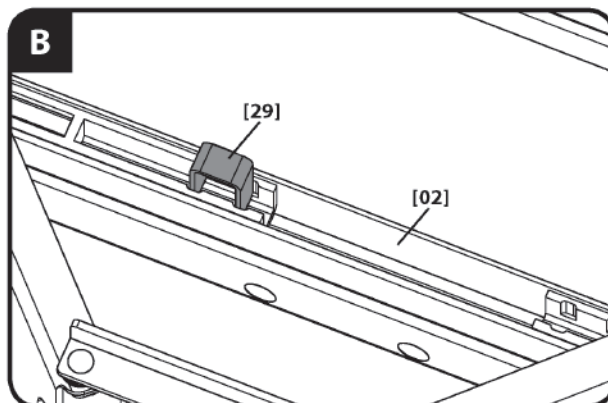
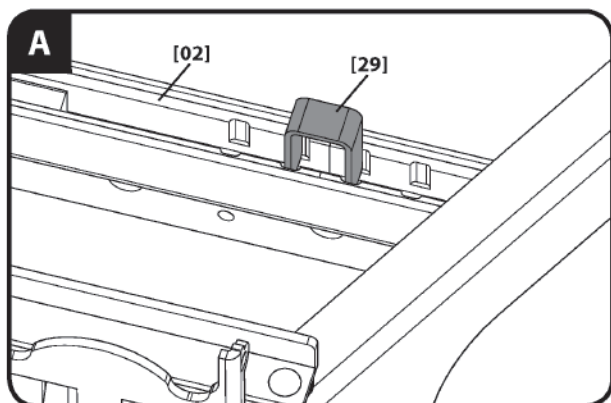
1. O 図の様に好みのテンションで、上下方向の視野角 (TILT) が可変出来るように、手又は M3 六角レンチ [24] で調節をします。

保管方法

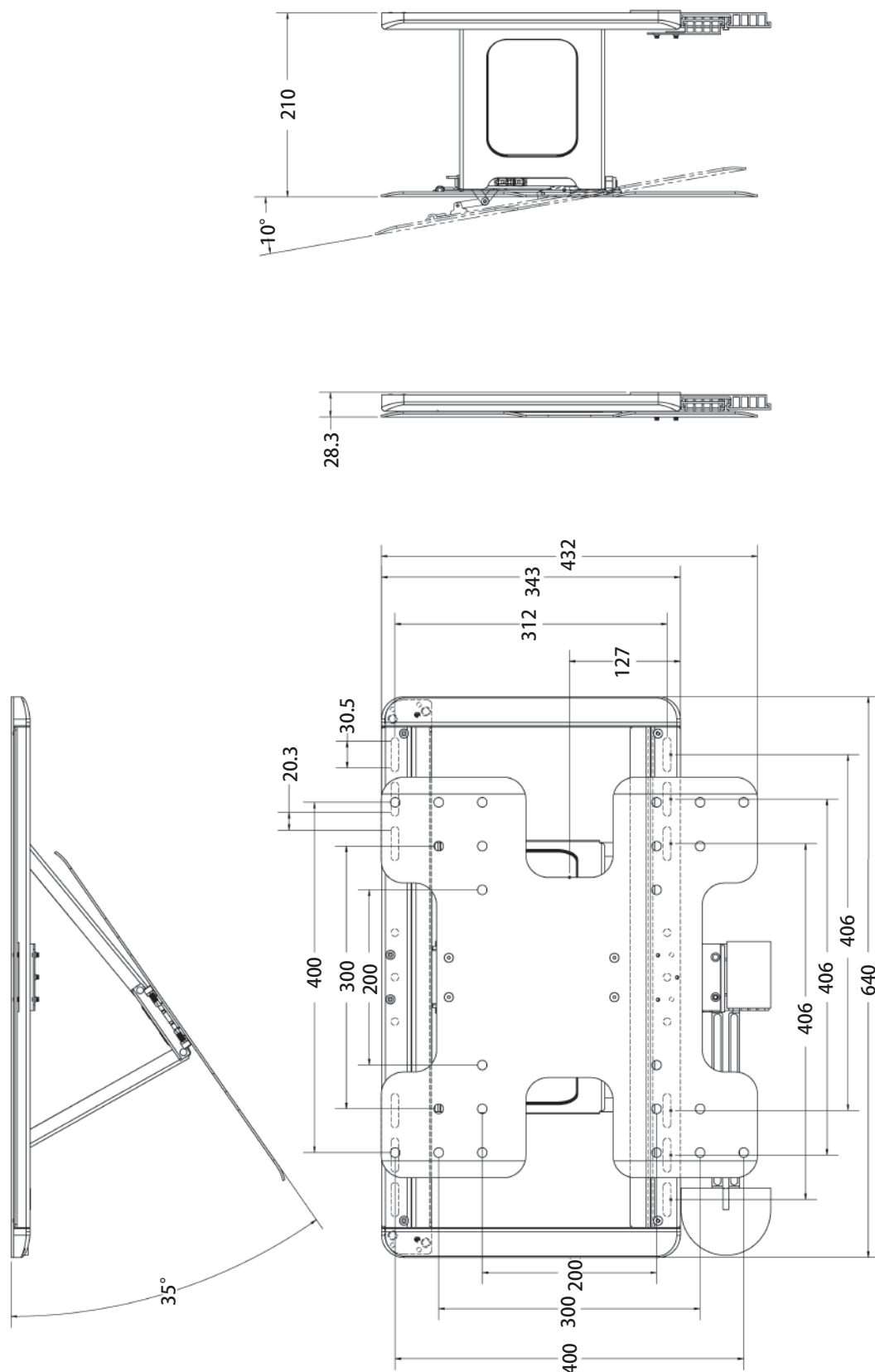
2. 設定が完了したら、A 図の様に壁掛け金具 [02] に取り付けられたスライドロック [29] を、ロック位置から取り外し、B 図の様にスライドの 1 つの溝に取り付けて保管します。



O 図



5. VMF308 外観図



単位: mm
尺度: 任意

P 図

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL: 06-6612-2008 FAX: 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com